2025 年 9 月 17 日発行

富山県感染症発生動向速報

（2025 年第 37 週分・9 月 8 日～9 月 14 日）

■今週の主な動向

〇新型コロナウイルス感染症の報告数が多い状況です。

県内の患者報告数は、今週 9.46 人/定点となり、先週から増加しました。特に 10～14 歳で顕著に増加しており、学校再開等の影響が考えられます。手指衛生や咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう（COVID-19 の疫学所見参照）。

〇ヘルパンギーナの報告数が多い状況です。

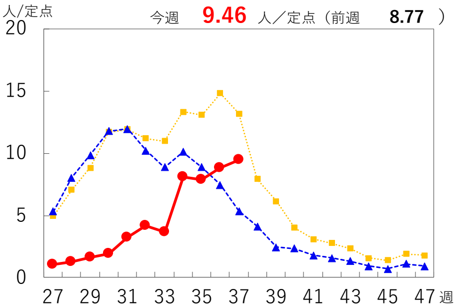
患者の年齢は 1 歳が最も多く、5 歳以下の未就学児がほとんどを占めています。症状として、突然の高熱、口腔内の水疱、のどの痛みや発赤がみられます。小さなお子さんのいる家庭や施設では感染予防を心がけましょう（第 30 週インフォメーション参照）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患＋急性呼吸器感染症　（第 37 週・9/8～9/14）

1 位：　COVID-19

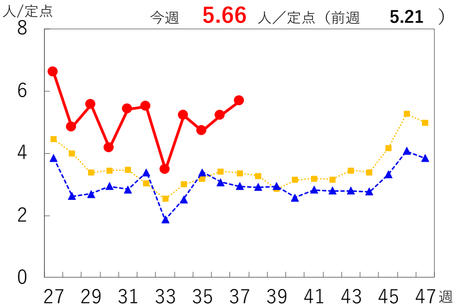
人/定点　今週 **9.46** 人／定点（前週 8.77 ）



警報・注意報基準なし

2 位：　感染性胃腸炎

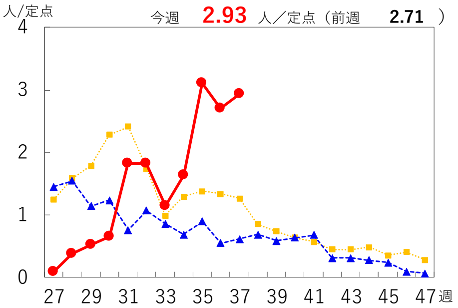
人/定点　今週 **5.66** 人／定点（前週 5.21 ）



警報（開始：20.00／終息：12.00）

3 位：　ヘルパンギーナ

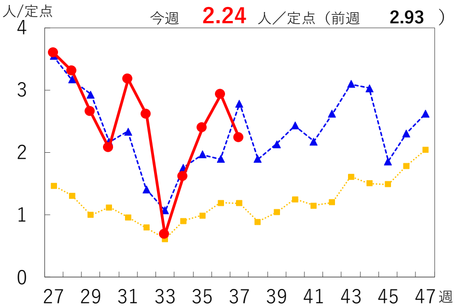
人/定点　今週 **2.93** 人／定点（前週 2.71 ）



警報（開始：6.00／終息：2.00）

4 位：　A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

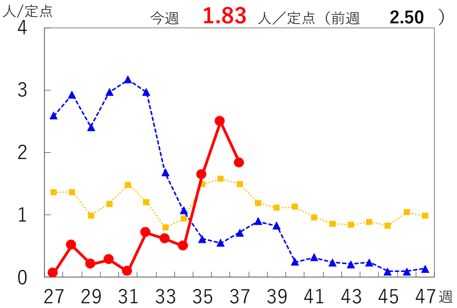
人/定点　今週 **2.24** 人／定点（前週 2.93 ）



警報（開始：8.00／終息：4.00）

5 位：　R S ウイルス感染症

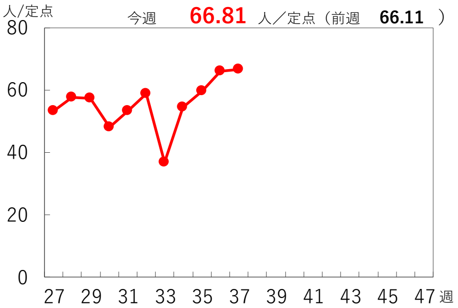
人/定点　今週 **1.83** 人／定点（前週 2.50 ）



警報・注意報基準なし

急性呼吸器感染症

人/定点　今週 **66.81** 人／定点（前週 66.11 ）



警報・注意報基準なし

現在　前年　過去10年平均　警報　注意報　流行

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1

■全数報告の感染症

三類感染症　腸管出血性大腸菌感染症　2 件（①10 歳代、女性、O157、VT2
②20 歳代、女性、O 血清群不明、VT1）

五類感染症　侵襲性肺炎球菌感染症　1 件（70 歳代、男性）

梅毒　4 件（①②共に 30 歳代、女性、早期顕症梅毒 II 期
③40 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期　④60 歳代、男性、早期顕症梅毒 II 期）

百日咳　8 件（①②共に 10 歳未満、女性　③④共に 10 歳代、男性
⑤～⑦全て 10 歳代、女性　⑧20 歳代、男性）

富山県

富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通）　HP：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/

2025 年 9 月 17 日発行

富山県感染症発生動向速報（2025 年第 37 週分・9 月 8 日～9 月 14 日）

県内でも増加中「梅毒」
早期の検査、治療を！

《 インフォメーション 》

●梅毒

梅毒は、梅毒トレポネーマ（細菌）を原因とする感染症で、主に感染者との性的接触によって感染します。梅毒は感染後、潜伏期、早期顕症梅毒Ⅰ期（感染部位にしこりや潰瘍）、早期顕症梅毒Ⅱ期（全身に多種多様な病変）という経過をたどりますが、Ⅰ期とⅡ期の間に症状がない潜伏梅毒の時期があり、これが受診の機会を逃す一因となっています。なお、潜伏梅毒はⅡ期以降にも現れ、数年～数十年後に、皮膚や骨のゴム腫、心血管系梅毒を呈し、致命的となることがあります（晩期顕症梅毒）。また、妊娠中に感染していると胎盤を通じて胎児へ感染し、流産や死産、児が先天異常（難聴、肝脾腫、角膜炎、骨異常、心奇形、歯の異常等）や精神発達遅延等を持った状態（先天梅毒）となることがあります。

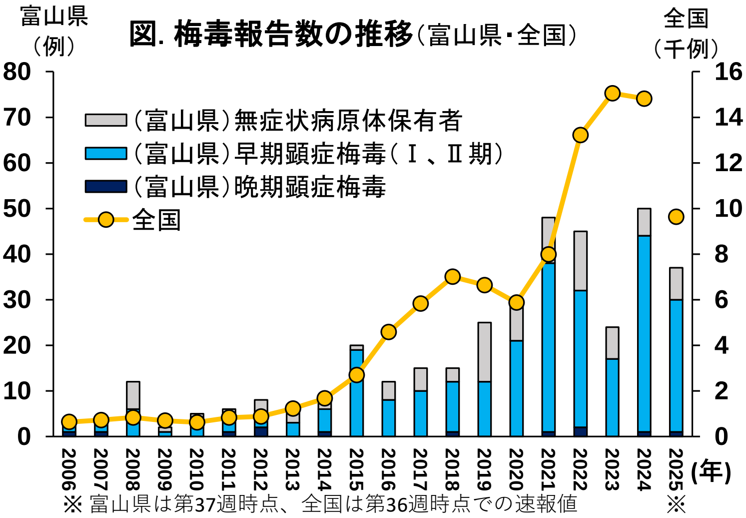


図. 梅毒報告数の推移（富山県・全国）

※ 富山県は第37週時点、全国は第36週時点での速報値

全国の梅毒患者報告数は2011年頃から増加傾向にあり、2019年、2020年に減少したものの2021年に再度増加に転じ、2022年以降は年間13,000例を超えています。2025年は第36週時点の速報値で既に9,631例が報告されており（図：折れ線グラフ）、なかでも先天梅毒は2023年に37例、2024年に30例、2025年は第36週時点で既に29例が報告されています。

一方、富山県の報告数は2024年に50例と感染症法が施行された1999年4月以降最多となり（図：棒グラフ）、2025年は第37週時点で37例（男性：20～50歳代18例、60歳代3例、70歳代1例、女性：20～50歳代15例）の報告があり、早期顕症梅毒（Ⅰ、Ⅱ期）の割合が78%（29/37）と高くなっています。

Ⅱ期では皮膚、陰部、口、腎臓、脳・神経、骨などいろいろな臓器に多彩な症状が認められます。専門医以外では梅毒と診断されない可能性もあります。少しでも心当たりがあれば、専門医での受診もしくは梅毒の検査を受けましょう。検査は、保健所、厚生センターにて匿名で受けることができます（梅毒、クラミジア検査[富山県]、HIV（エイズ）性感染症相談・抗体検査[富山市]）。

梅毒は主にペニシリン系抗菌薬による治療が可能で、早期の治療が重要です。感染予防として、不特定多数との性行為を避けること、適切にコンドームを使用することが有効です。また、先天梅毒を防ぐために、妊娠が分かったら妊婦健診を受けましょう。妊娠後期では先天梅毒を防げない場合がありますので、妊娠初期に陰性であっても妊娠中に感染の心当たりがあればすぐに医療機関を受診し、検査や治療を受けましょう。

○感染症発生動向調査報告状況（2025年第37週 2025年9月8日～2025年9月14日）

分類		疾患	今週報告分（第37週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核							6	2	14	13	38	73
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	9	7	24	46
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1	1		2	2	1	4	3	2	12
	四類感染症	Ｅ型肝炎									4			4
		Ａ型肝炎								1	1			2
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)									1			1
		デング熱									1			1
		レジオネラ症								1	3	2	11	17
	五類感染症	アメーバ赤痢									1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9
		急性脳炎									1	1		2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3		6	10
		後天性免疫不全症候群（ＨＩＶ感染症を含む）											1	1
		ジアルジア症										1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	3	7
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	5		8	3	18	34
		水痘（入院例）							1		1			2
		梅毒	1			1	2	4	4	1	5	2	25	37
		百日咳		2	1	1	4	8	29	135	142	37	268	611
		風しん										1		1
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症 （※1）	293	307	861	347	1, 399	3, 207	6, 701	6, 053	22, 651	5, 444	27, 967	68, 816
			41. 86	61. 40	66. 23	49. 57	87. 44	66. 81						
		インフルエンザ	5		6	4	6	21	943	874	1, 677	993	1, 908	6, 395
			0. 71		0. 46	0. 57	0. 38	0. 44						
		COVID-19	82	36	110	83	143	454	1, 373	565	1, 520	1, 104	1, 405	5, 967
			11. 71	7. 20	8. 46	11. 86	8. 94	9. 46						
	小児科定点 （29定点）	ＲＳウイルス感染症	1	10	18	1	23	53	42	50	191	51	300	634
			0. 25	3. 33	2. 25	0. 25	2. 30	1. 83						
		咽頭結膜熱	1	1			1	3	68	36	282	4	101	491
			0. 25	0. 33			0. 10	0. 10						
		Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	3	22		39	65	142	236	1, 461	186	2, 038	4, 063
			0. 25	1. 00	2. 75		3. 90	2. 24						
		感染性胃腸炎	32	12	17	2	101	164	1, 002	613	1, 444	505	4, 342	7, 906
			8. 00	4. 00	2. 13	0. 50	10. 10	5. 66						
		水痘		1	1		3	5	10	78	44	20	284	436
				0. 33	0. 13		0. 30	0. 17						
		手足口病			6	2	4	12	4	8	52	11	55	130
					0. 75	0. 50	0. 40	0. 41						
		伝染性紅斑	8	5	9	4	21	47	114	311	741	122	1, 182	2, 470
			2. 00	1. 67	1. 13	1. 00	2. 10	1. 62						
		突発性発しん	1	1	2		4	8	7	23	113	27	127	297
			0. 25	0. 33	0. 25		0. 40	0. 28						
		ヘルパンギーナ	4	3	42	23	13	85	27	39	246	52	158	522
			1. 00	1. 00	5. 25	5. 75	1. 30	2. 93						
		流行性耳下腺炎					2	2	2	11	7	8	22	50
							0. 20	0. 07						
	眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎			1			1			5	95		100
					0. 50			0. 14						
		流行性角結膜炎				4		4	6	19	27	10	2	64
						4. 00		0. 57						
	基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎					1	1				1	1	2
							1. 00	0. 20						
		無菌性髄膜炎										1		1
		マイコプラズマ肺炎	3		1	1		5	24	9	34	24	8	99
			3. 00		1. 00	1. 00		1. 00						
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5
	入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザ による入院患者（※2）			1	1		2			1	1		2
		COVID-19 による入院患者	1	1	1	5	16	24	114	109	82	141	281	727

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/ ）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

〇感染症発生動向調査報告状況（2025年8月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		8月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点（10定点）	性器クラミジア感染症	1				4	5	2	1	14		47	64
		1.00				1.00	0.50						
	性器ヘルペスウイルス感染症			1		1	2		7	3		39	49
				0.33		0.25	0.20						
	尖圭コンジローマ		1		1	1	3		2	2	4	13	21
			1.00		1.00	0.25	0.30						
	淋菌感染症	1					1	1		3		9	13
		1.00					0.10						
基幹定点（5定点）	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	2		5	9	11	9	22	11	38	91
			2.00	2.00		5.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。